

子育て支援センター運営事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0101	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	子育て不安の解消	担当	こども子育て部 子育て相談課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	未就学児、未就学児の子育てをしている保護者	子育て支援センターを平成14年5月に保健福祉センター4階に開設。所長(保育士)1名、指導員3名を配置し、月～金曜日の9:00～16:00を開館時間として事業を展開。未就学児を持つ保護者を対象とした育児不安などに対する相談業務 すくすく子育て講座(アラフォーママの会(平成29年度開設)を含む)の開催(年20回程度) 保護者同士の交流や仲間作りの場として各種サロンを運営 ・双子・三つ子サロン(平成22年度開設) ・発達支援サロン(平成23年度開設) ・Let's産後ケア(平成28年度開設) 子育て家庭を対象としたリフレッシュ事業の施行及び本格実施に向けた検討。 すくすくカレンダーの発行、子育て応援メール配信、支援センターだより発行 子育て託児ボランティア、応援ボランティアの募集、登録及び適切な運用。 子育てサークルづくりの支援、運営のノウハウの指導など 地域子育て支援センターを市内保育園に6箇所開設、指導員2名を配置 はんのき子育て支援センター 藤池子育て支援センター 茅ヶ池子育て支援センター 東部子育て支援センター レイモンド庄中子育て支援センター 川南子育て支援センター
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	・子育て不安・負担感が軽減されている。 ・親の子育て力が高まっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 相談件数	件	807	1,117	1,500	1,315
	B 講座参加者数	人	419	560	800	567
成果指標	C 相談や講座への参加を通じ子育て不安の軽減がされた保護者割合	%	100	99	80	99
	D 講座やサークル活動を通して育児能力の向上に繋がったと感じる保護者割合	%	96	96	90	92
事業費 計			1,205	1,381	1,479	1,276
財源内訳		ア 国	319	351	493	423
		イ 県	319	351	493	423
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	567	679	493	430

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 成果指標Cについては、変化なし。成果指標Dについては、4.0p低下。 (原因) 成果指標Cについては、少人数予約制やPR強化による利用促進、感染対策に配慮した親子講座やオンライン講座等の開催により維持することができた。 成果指標Dについては、オンライン講座で対面でないことから講師との直接のやりとりや親同士の交流ができない講座もあり、育児能力の向上が感じづらかったのではと思われる。
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

家庭児童相談事業

[70]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0102	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	子育て不安の解消	担当	こども子育て部 子育て相談課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・18歳未満の児童とその保護者
・ドメスティック・バイオレンスの被害者等

18歳未満の子どもがいる家庭の問題や子育てに不安のある保護者が相談できる場として、問題の解決や不安の軽減につなげるとともに、ドメスティック・バイオレンス被害者の相談や安全の確保に努める。
市民に分かりやすい窓口とするため、平成24年からは保健福祉センターに子どもの相談業務を集約し、家庭児童相談業務を「こども・子育て相談」と改名した。令和3年度からは組織変更に伴い、課名を子育て相談課とし、子育てに関する総合相談窓口「子ども・子育て相談」として各種相談を受けるとともに、必要に応じ、他機関を紹介するなどしている。
職員体制は会計年度職員の相談員4名(保育士、教員資格保持者)で、月～金曜日の9:00～16:00に開設

・家庭の問題や不安を相談できる場がある。また、相談により、問題や不安の軽減が図られる。
・ドメスティック・バイオレンスの被害者等の不安の軽減が図られ、安全が確保されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 相談所開設日数	日	246	242	243	240
	B					
成果指標	C 相談件数	件	2,128	1,988	2,000	1,943
	D					
事業費 計			150	129	147	127
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	150	129	147

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) R3実績と比べ、相談件数は横ばいである。 (原因) 相談内容が、複雑で多様であるため、要因の特定が困難であるが、今後も相談内容に合わせての対応が必要となる。</p>
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	既存のSNSや広報等の活用、関係課と連携し、相談窓口の周知を行います。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

SNSや広報等、その他、相談窓口を紹介するチラシを他課と協力して配布し情報発信を行った。引き続き、周知に努める。

ピンポンパン教室運営事業

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0103	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	子育て不安の解消	担当	こども子育て部 子育て相談課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	就園前・就学前の発達に遅れのある子どもとその保護者	就園前・就学前の発達に心配がある児童に保護者同伴で教室通園してもらい、集団療育訓練等を行っている。 平成23年度から定員、通園日数、療育相談事業等を拡充、また、健常児との交流機会を図るため、稲葉保育園と併設した。 ・定員：30名 ・開設日：月～金曜日(週5日) ・開設時間：午前10時～午後3時 ・保育士8名、看護師(週3日勤務)1名の体制で事業を実施している。 ・年間行事として、7月：七夕会、9月：祖父母参観、11月：秋祭り、12月：餅つき・クリスマス会、2月：豆まき・おこしもの作り、3月：ひな祭り ・卒園後を見据えて就園懇談会(7月)、就学懇談会(1月)を開催 ・愛知県障害等療育等支援事業を年3回、教室独自で臨床心理士等の療育発達相談事業を年28回開催予定。 ・令和3年12月から、定員30名を1日当たりの最大利用者数として運用。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 通園児童数(通園許可児童の年間実人数)	人	46	37	40	40	
	B 療育発達相談等実施回数	回	28	28	28	28	
成果指標	C ピンポンパン教室の運営に満足している保護者の割合	%	100	100	95	100	
	D						
事業費 計			1,857	1,896	1,854	1,908	
財源内訳		ア 国			100	105	
		イ 県			50	52	
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		1,857	1,896	1,704	1,751

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標C「ピンポンパン教室の運営に満足している保護者の割合」については、100%を維持している。 (原因) 指標となるアンケートの内訳として教室で実施している遊びや療育、相談支援など親子に対する職員の関わりについての満足度が高く、子と保護者それぞれに丁寧に関わった結果によると思われる。しかし、母数が少ないため、今後変動が大きくなりやすいことに留意が必要である。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

ピンポンパン教室施設修繕・工事管理事業

[1351]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0104	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	子育て不安の解消	担当	こども子育て部 こども未来課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	ピンポンパン教室施設 意図(対象をどのような状態にしたいのか) 適切な維持管理により、園児や保護者、職員などが安全で快適に利用できる状態になっている。	<対象施設> 市内に1ヶ所設置されている。 稲葉保育園に併設 <事業内容> ・個別施設計画に基づく工事の実施 ・施設・設備修繕の実施

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 修繕件数	件	16	8	6	8	
	B 工事件数	件	0	2	0	0	
	成果指標	C 施設からの修繕要望の実施率	%	-	80	100	100
		D 工事進捗率	%	-	100	0	0
事業費 計				1,274	305	304	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般			1,274	305	304

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標C:実施率は100%。 成果指標D:評価不可。 (原因) 成果指標C:要望通りに実施できたため。 成果指標D:工事実施予定がなかったため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	個別施設計画に基づき、計画的な修繕等を行います。		
実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	個別施設計画に基づいた、計画的な修繕はなかったが、引き続き整備・改修を実施した。		

出産・子育て応援事業（出産・産後）

[1415]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0105	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	子育て不安の解消	担当	こども子育て部 子育て相談課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	令和4年4月以降に妊娠・出産したかた	<p>妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と経済的支援を一体的に行う。子育て相談課では、出産後の面談を行ったかたへ子育て応援給付金を支給する。</p> <p>(事業開始) 令和5年2月1日</p> <p>(内容・手段) ○経済的支援 子育て応援給付金(新生児一人当たり5万円)を給付する。 ○伴走型相談支援 出産後、子育てガイドを基に、面談を行う。面談は、新生児訪問、子育て支援センター、すくすく赤ちゃん訪問などを活用し、アンケートを実施する。 (遡及対象者) 令和4年4月1日から令和5年1月31日までに妊娠、出産したかた</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・子育て家庭が持つ孤立感や育児不安などの軽減が図られている。
・育児に関する経済的負担が軽減されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 子育て応援給付金給付者数	人				449	
	B 面談人数(出産後面談)	人				449	
	成果指標						
	C 子育て応援給付金給付率	%				99.8	
事業費	事業費 計					49,860	
	財源内訳	ア 国	千円				33,468
		イ 県					8,305
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般					8,087

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	<p>(状況)令和4年度の指標は、遡及対象者となり順調に給付することができた。伴走型相談支援については、新生児訪問、子育て支援センター、すくすく赤ちゃん訪問を活用し、面談を進めている。 (原因)-</p>
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	未設定
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

保育士研修事業

[75]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0204	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 保育課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保育士	各年度において、職員研修実施計画を策定し、実施する。 <集合研修> 全員保育士研修 7月・11月 7.75時間保育士全員対象(外部講師) 保育士研修 4月 新任園長対象 4月 育休明け保育士対象 5月・6月・7月・12月 サポート担当保育士対象(外部講師) 6月 初任保育士対象 公開保育研修 6月・9月・12月 担任保育士対象 調理員研修 8月・12月 園長・調理員対象(外部講師) 副園長研究会 年10回 副園長 研究討議 園長研究会 年11回 園長 研究討議 保育士講習会 年3回 保育士対象(外部講師) 会計年度任用職員研修 5月 会計年度任用職員対象
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<派遣研修> 新任保育士関係 年2回 障害児援助関係 講習会 年5回・事例検討会 年10回 保育士・主査関係 年9回 副園長関係 年4回 園長関係 年8回 その他(保健師・調理員) 年1回(用務員・調理員)
保育者としての専門知識・技術を習得し、資質・意識の向上が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 開催・参加した研修数	回	64	97	130	128
	B 研修を受講した職員延べ人数	人	598	1,098	1,000	1,243
成果指標	C 研修に参加して、役に立ったと答えた参加者の割合	%	100	100	100	100
	D					
事業費 計			437	451	793	597
財源内訳		ア 国	70	96	142	142
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	367	355	651

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) R3と同様に、成果指標は最高状態を維持している。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により参加できなかった研修もあるが、日々の保育に役立つ効果的な研修により高い成果を得ることができている。
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	受講対象者の幅を広げ、研修の充実を図ります。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
育休明け保育士や保育園の看護師、調理員なども受講できるよう対象者の幅を広げた。			

保育園施設維持管理事業

[76]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0205	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 保育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保育園	<ul style="list-style-type: none"> 警備保障、廃棄物(給食残菜及び使用済紙おむつ)処理委託等契約事務 保育用備品の購入及び買い替え、修繕 光熱水費等の支払い、クリーニング等の運営管理事務を年間を通じて行う。 R2に施設修繕・工事、R3に施設保守委託事務をこども未来課へ移管。これに伴い、活動指標B及び成果指標Dの指標はR2まで。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
安全で快適な保育環境を保つことができるよう保育園の維持管理を行う。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 業者委託等契約件数	件	22	3	5	2	
	B 修繕・維持補修の実施数(R02まで)	件	147				
	C 保育園施設及び施設管理上の不具合による事故件数	件	0	0	0	0	
	D 保育園施設管理上の不具合件数(R02まで)	件	0				
事業費 計			54,719	29,911	30,980	35,300	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		4,273	1,000		250
		オ 一般	千円	50,446	28,911	30,980	35,050

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) R3年度と同様に成果は最高状態を維持している。 (原因) 適切な管理に努めたことにより、事故を予防できている。 活動指標Aについては、契約の統合等により件数が減少しているが順調に進んでいる。
--------	--	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

特定教育・保育実施事業

[78]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0206	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 保育課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

民間保育：あさひおっけい保育園、保育所てんとう虫、レインド 庄中保育園
 小規模：ナギ-スクールファミリー、スクロ エンジェ ル保育園三郷園、あさひちいさないえほ いくえん、メリツ-旭保育園、旭前わか ば保育園
 病児病後児：あらかわ医院

民間保育所保育委託料・施設型給付費等負担金
 子ども・子育て支援法により、保育の実施に要する費用を市が支弁する。
 民間保育所に対し国の定める公定価格単価等乗じ、運営(委託)費として委託料を支払う。
 尾張旭市民間保育所運営費補助金
 公立保育園と同様の職員体制を維持し通常保育を円滑に運営させるための補助(市単独補助)。
 尾張旭市民間保育所特別保育事業費等補助金
 県の定める要綱等に基づき、特別保育サービスである1歳児保育等を実施している民間保育所等に補助金を支給。
 尾張旭市民間保育所産休等代替職員設置費補助金
 県の定める要綱に基づき産休代替職員に対する補助を支給。
 病児・病後児保育
 あらかわ医院に事業を委託し、病気・病気回復期の児童を一時的に保育する。

民間保育所が円滑に運営され、適正な数の児童の保育が行われ、十分な保育サービスが提供されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 委託料	千円	277,817	277,354	277,000	281,513
	B 病児保育利用児童数(延べ人数)	人	86	203	500	253
成果指標	C 民間保育所・小規模保育事業所での保育児童数(3月1日現在)	人	296	300	315	304
	D 民間保育所・小規模保育事業所での特別保育延べ利用者数	人	4,549	3,650	4,500	3,603
事業費 計			528,161	538,995	538,878	580,546
財源内訳		ア 国	230,584	229,260	216,655	248,816
		イ 県	106,872	103,904	123,532	110,261
		ウ 地方債				
		エ その他	42,728	38,100	42,410	38,273
		オ 一般	147,977	167,731	156,281	183,196

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況)民間保育所・小規模保育事業所における休日保育は33日(21.2%)増加したが、延長保育の延べ利用者数が236人(6.5%)減少した。 (原因)公立保育所においても延長保育の利用者が減ったことから、保護者の生活様式に変化が生じている可能性がある。</p>
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

認可外保育所支援事業

[79]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0207	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 保育課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	一定の基準を満たす認可外保育園(県への届出を行った保育園のうち、本市の施設基準に合致する認可外の保育園)	市単独補助事業であり、本市の保育室の基準を満たしている施設から保育室開設申込書が提出された場合に、乳児保育委託契約に基づき児童一人あたり月額27,280円の委託料を施設に支払う。 公立保育園の整備により一時的に待機児童が減少し、当該事業についても今後も徐々に減じていく方針であったが、平成20年度から再び待機児童が生じており、待機児童対策として、この事業が必要となっている。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度は月8人枠に拡充し、開設申込のあった施設と契約。 平成22年度は月10人枠に拡充し、開設申込のあった施設と契約。 平成25年度は月20人枠に拡充し、開設申込のあった施設と契約。 平成29年度・・・15人枠(過去の実績を考慮)、2施設と契約。 平成30年度以降・・・10人枠(過去の実績を考慮)、2施設と契約。
	認可保育園に入園できない待機児童を含め、必要な保育が受けられている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 委託料	千円	1,800	2,456	3,274	1,992	
	B						
	C						
	D						
成果指標	事業費 計			1,800	2,456	3,274	1,992
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		1,800	2,456	3,274	1,992

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

保育サービス事業

[81]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0209	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 保育課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	就学前児童のうち保育の必要性がある児童とその保護者	入園申込(一斉、随時)の受付審査を行い、保護者の収入、就労状況等により、入園・保育の認定区分、保育料(0~55,500円)等を決定 保育時間は、短時間(8:00~16:00)、標準時間(7:30~18:30)で区分 園児に対しては、 ・季節の保育行事や給食(自園調理)の実施などを年間・月間カリキュラムに沿って実践
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・健康管理は、内科(年2回)、歯科、眼科(各年1回)検診、プール前の尿検査を実施。事故に対する賠償保険に加入 ・アレルギー対応は、除去食等で実施 特別保育は、延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育、サポート保育を実施 用務員8名派遣(R3.6派遣開始) 公立8園にICTシステム導入(R8.3.31までの長期継続契約)
	保護者の仕事と育児の両立が可能で、子どもが健やかに成長できる環境が整備されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 入園申込み受付審査件数	件	828	874	1,020	862	
	B						
成果指標	C 公立公営保育所で保育を受けている児童数	人	940	930	1,020	920	
	D 公立公営保育所での特別保育延べ利用者数	人	3,696	3,746	3,700	3,211	
事業費 計			91,098	103,187	120,212	132,826	
財源内訳		ア 国		4,000		9,662	
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		46,564	47,159	50,263	48,155
		オ 一般		44,534	52,028	69,949	75,009

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)入園児数はほぼ横ばい。公立公営保育所における一時保育の延べ利用者数は209人(8.0%)減少し、延長保育の利用者数は326人(40.3%)減少した。 (原因)私立保育所や小規模保育事業所の一時保育・延長保育の利用も減っていることから、コロナ禍をきっかけに保護者の生活様式に変化が生じている可能性がある。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	育休退園の見直しを行います。 マイナンバーカードによる利用申請の検証を行います。 保育業務支援システムを活用し、保育士の負担軽減と保護者との情報共有を深めます。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	実施済み。 利用実績なし。 保育業務支援システムを使用し、希望保育の調査や利用者アンケートを行うことで、文書でのやり取りを廃止し保育士の負担軽減と保護者との情報共有を図った。		

公立保育所指定管理事業

[1051]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0212	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 保育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保育園児およびその保護者	<p>はんのき保育園(指定管理者:社会福祉法人オールフェアリー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年4月(開園時)から業務委託、定員29人 34人、3歳未満児専用園 平成26年4月から指定管理 延長保育、一時保育、子育て支援センター事業を実施。 <p>茅ヶ池保育園(指定管理者:株式会社日本保育サービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年4月から指定管理、定員180人 150人 130人 延長保育、一時保育、サポート保育、子育て支援センター事業を実施。 <p>稲葉保育園(指定管理者:学校法人菊武学園)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年4月(開園時)から指定管理、定員60人 延長保育、サポート保育を実施。 <p>東部保育園(指定管理者:社会福祉法人オールフェアリー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月から指定管理、定員110人 延長保育、サポート保育、子育て支援センター事業を実施。 <p>令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、給食食材料費相当分の指定管理料見直し実施。 令和3年度 指定管理料を見直し、処遇改善 相当額を増額。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>多様な保育サービスを利用できる。 多様な保育サービス:延長保育、一時保育などの特別保育。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 延長保育利用者延べ人数(年間)	人	475	424	500	349
	B 一時保育利用者延べ人数(年間)	人	2,029	2,463	2,000	2,306
成果指標	C 延長保育・一時保育利用率	%	100	100	100	100
	D 待機児童数	人	24	12	0	9
事業費 計			339,351	352,562	354,566	357,793
財源内訳		ア 国	2,070	5,160	5,142	5,160
		イ 県	3,017	6,167	6,342	6,450
		ウ 地方債				
		エ その他	32,768	30,497	35,910	30,209
		オ 一般	301,496	310,738	307,172	315,974

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 成果指標Cについては、最高水準を維持、成果指標Dについては、待機児童数はR3実績と比較し3人減少した。 (原因) 成果指標Cについては最高水準であり、成果指標Dについては、認可外保育施設の開園等による減少であるが、引き続き待機児童ゼロに向けた対策を検討する必要がある。</p>
--------	--	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

保育園入園待機児童解消事業

[1200]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0215	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 保育課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保育園入園希望者	保育園入園待機児童対策として、施設の新設等を含めた対策を実施した。 ・平成23年度：稲葉保育園復元、西山保育園増築 ・平成24年度：民間保育園(レイモンド庄中保育園)誘致 ・平成25年度：既存保育園の定員増(西部10名増、てんとう虫10名増) ・平成26年度：既存保育園の定員増(西部分園5名増、茅ヶ池11名増) ・平成27年度：既存保育園の定員増(川南建替30名増、茅ヶ池5名増) ・平成28年度：小規模保育事業所開設(ファミリー、スクール 34名増) 既存園の定員増(本地5名増) ・平成29年度：小規模保育事業所開設(ファミリー、ちいさないえ28名増) 既存園の定員増(おっきい10名増) ・平成30年度：小規模保育事業所開設(わかば19名増) ちいさないえ4名減 平成26年度の7月から保育コーディネーターを配置し、待機児童のフォローアップなどに取組む。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
保育園入園待機児童数がゼロになっている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 定員増した保育園数(小規模等含む。)	園	0	0		0
	B 3歳未満児の定員増加数(単年度)	人	0	0		0
成果指標	C 3歳未満児の市内全保育施設の年間入所定員数	人	556	556	556	556
	D 待機児童数	人	24	12	0	9
事業費 計						
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 待機児童数は減少した。 (原因) 認可外保育施設の新設により待機児童の受け皿が増加したが、廃園した施設もあり、民間事業者との連携強化を図る必要がある。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

子育て支援短期利用事業

[92]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0217	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 子育て相談課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	18歳未満の児童及びその保護者	保護者の社会的事由等(疾病、出産等)により、家庭での養育が一時的に困難な場合、保護者からの申請書を受理し、内容確認の上、児童を福祉施設において一定期間(原則7日間)保護・養育する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童の保護・養育を行うことにより、保護者が安心して社会活動を行うことができる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 契約施設数	ヶ所	4	4	4	4	
	B						
成果指標	C 利用者数	人	0	0	4	0	
	D						
事業費 計					77		
財源内訳		ア 国			23		
		イ 県			23		
		ウ 地方債					
		エ その他				7	
		オ 一般				24	

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況) R3実績と比べ、変化なし。 (原因) 事前の相談対応等により、施設を利用する事例に至るケースが発生していないため。</p>
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

保育士確保事業

[1266]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0219	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 こども未来課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保育士 保育士を目指す学生等 潜在的保育士 意図(対象をどのような状態にしたいのか) 保育サービスの担い手となる保育士の量と質が確保されている。	子育て支援の充実に向け、求められる保育サービスの新規実施・拡充には、その担い手として必要な保育士の確保が喫緊の課題となっています。 そのため、現在活躍している保育士の質を高める取組により、就業継続を進めるとともに、再就職や職場の環境改善に向けた取組を実施します。 <取組内容> 平成27年度に「保育士確保事業検討委託業務」を実施し、当該業務報告書に基づき、下記の事業に取り組んでいます。 新卒者の確保 ・大学や短大、専門学校等の保育士養成機関との情報交換や受験勧奨。 ・保育士向け就職セミナー等への出展。 中途採用、会計年度職員の確保 ・ハローワークでの求人掲載 職場環境の改善(就労継続) ・就労継続講座(ワークライフバランス講座)の開催 ・育児休業中保育士交流会の開催

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 保育士就業継続のための取組数	事業	3	7	3	5
	B 保育士新規確保のための取組数	事業	7	3	8	5
成果指標	C 定年以外の退職保育士数	人	5	5	0	6
	D 新規採用試験(保育士)への受験者数	人	37	28	50	51
事業費 計			275	315	315	40
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		275	315	315

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)定年以外の退職保育士数は昨年度と同程度であるが、新規採用試験受験者数は大幅に増加した。 (原因)定年以外の退職者数は職場以外の個人的な理由もあるため、分析は難しい。新規採用試験受験者数が増加したのは、採用予定人数が増えたこと、大学等での説明会やボランティア・インターンシップを通じた情報取得も一因であると考えられる。 : R1新卒5人+経験若干名、R2新卒5人+経験若干名、R3新卒5人+経験若干名、R4新卒10人+経験若干名
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

地域型保育事業認可・指導監査事業

[1270]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0220	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 こども未来課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	地域型保育事業者	<p>地域型保育事業の認可 子ども・子育て支援新制度において、市町村の認可事業であり下記事業の認可・確認を行う。</p> <p><地域型保育事業の種類> 小規模保育 A・B・C型(施設、職員配置の基準による。) 定員:6人~19人 家庭的保育 定員:5人以下 居宅訪問型保育 子どもの居宅を訪問して実施 事業所内保育 事業所従業員及び地域枠を設定</p> <p><市内の小規模保育事業> H28.4月 2か所開園(スクルド、ファミリー) H29.4月 2か所開園(ちいさないえ、メモリーツリー) H30.4月 1か所開園(旭前わかば)</p> <p>地域型保育事業の指導監査 児童福祉法及び子ども子育て支援法に基づく指導監査を実施する。 (一般指導監査:年1回、特別指導監査:随時)</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

地域型保育事業が円滑に認可・運営されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 公募による募集件数	施設	0	0	0	0
	B 指導監査実施回数	回	5	5	5	5
成果指標	C 地域型保育事業所数(累計)	箇所	5	5	5	5
	D 地域型保育事業における増加定員数(累計)	人	0	0	0	0
事業費 計						
事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>
--------	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

保育園施設修繕・工事管理事業

[1352]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0222	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 こども未来課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>公設保育園施設</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>適切な維持管理により、園児や保護者、職員などが安全で快適に利用できる状態になっている。</p>	<p><対象施設></p> <ul style="list-style-type: none"> 公設保育園は、市内に12園設置されている。うち、指定管理導入園は4園(東部、茅ヶ池、稲葉、はんのき) <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 個別施設計画に基づく工事の実施 施設・設備修繕の実施

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 修繕件数	件	246	156	72	133	
	B 工事件数	件	17	3	2	4	
	成果指標	C 施設からの修繕要望の実施率	%	-	62.9	100	100
		D 工事進捗率	%	100	100	100	100
事業費 計				36,866	46,510	54,247	
財源内訳		ア 国	千円				
		イ 県				396	
		ウ 地方債					
		エ その他			1,238	13,000	13,000
		オ 一般			35,628	33,510	40,851

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況)</p> <p>成果指標C:実施率は100%。 成果指標D:工事進捗率は100%。</p> <p>(原因)</p> <p>成果指標C:要望通りに実施できたため。 成果指標D:計画通りに、工事を進めることができたため。</p>
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	更新時期を迎えている保育園の空調設備の計画的な整備を進めます。園ごとの修繕計画を策定し、計画的な修繕を行います。		
実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	更新時期を迎えている保育園(東部、中部、西部、藤池、あたご)の空調設備の整備を実施した。引き続き保育園整備・改修を実施した。施設整備計画の策定に着手した。		

ちびっ子元気まるプロジェクト事業

[1370]

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0223	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	保育サービスの充実と施設整備	担当	こども子育て部 保育課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・保育士 ・園児	ミズノ(株)開発の運動遊びプログラム(ヘキサスロン)を公立保育園全園(指定管理者を含む11園(3歳未満児専用保育園は除く))の保育士を対象に実施する。研修によりプレイリーダーを育てることで園児が運動あそびに触れる機会を増やす。 <参考> ミズノが考えるヘキサスロンにおけるプレイリーダーの役割は、 ・子どもが生き生きと遊ぶことのできる環境を作る ・子どもの興味や関心を引き出す遊びの整備 ・あそび場の状況に応じた子どもへの声掛け ・一緒に思い切り遊び、子どもが厚い信頼を寄せる相手となる ・大人(保護者)に子どもに代わって子どもの気持ちを伝える ○ヘキサスロン運用指導業務委託
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

運動あそびの大切さを保育士が共有し、その能力を高めることで、園児の運動あそびの経験が広がっている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 参加園数	園		10	11	11
	B 実地講習会の実施回数	回		2	2	2
成果指標	C 能力の向上につながったと回答した保育士の割合	%		100	100	100
	D 学んだ内容を保育で実践できた保育士の割合	%		83	80	95
事業費 計				440	400	396
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般			440	400

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標Cについては、最高状態を維持している。成果指標Dについては、12ポイント上昇した。 (原因) 成果指標Cについては、研修内容の分かりやすさが能力の向上につながっているといえる。成果指標Dについては、研修がすぐに保育現場で活かせる実践的な内容となっているためと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

放課後児童健全育成事業

[71]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0304	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	放課後の居場所づくり	担当	こども子育て部 こども課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保護者の就労等により、小学校の授業終了後等の預かりを必要とする児童	<ul style="list-style-type: none"> 留守家庭児童に対し小学校の放課後に預かり、遊びと生活の場を提供する。 開設時間 公立：下校時から18時まで(土曜日・学校長期休業日は7時30分から) 三郷・本地ヶ原・瑞鳳・渋川児童クラブは19時まで 民間：各施設によって異なる。 利用料等 公立(1~6年生)：8,500~9,500円程度(育成料6,000円(19時まで利用の場合は7,000円、8月のみ3,000円加算)+おやつ代・教材費2,500円程度) 民間(1~6年生)：3,000円~19,000円 ・H25年4月公立東栄児童クラブ開設(市内全9小学校区に公立児童クラブ設置済) 運営形態別クラブ数 公設公営6クラブ(10支援単位)、公設民営3クラブ(3支援単位)、民設民営8クラブ(10支援単位)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

放課後児童クラブ等を利用する児童の健全な育成が図られている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 公立児童クラブ定員数	人	675	675	675	675
	B 民間学童クラブ入所者数	人	405	386	380	436
成果指標	C 公立児童クラブ満足度	%	98.1	-	95	95.9
	D 公立児童クラブ充足率	%	98.7	96.4	100	97.2
事業費 計			181,818	170,999	185,143	187,647
財源内訳		ア 国	43,797	38,286	42,142	43,618
		イ 県	42,469	36,942	42,142	41,273
		ウ 地方債				
		エ その他	36,580	39,162	14,221	11,812
		オ 一般	58,972	56,609	86,638	90,944

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり	(状況) 成果指標Cは、前回調査から2.2ポイント減少している。 成果指標Dは、前年から0.8ポイント向上した。 (原因) アンケートでは、13名が「やや不満」「不満」と答えており、理由としては外遊びの少なさと利用料金に関することが挙げられている。目標値は達成しているが、満足度向上に取り組む。 待機児童数が2つの小学校区で生じていたが、7月には全ての待機が解消された。公立の定員増加、又は、民間学童クラブの新設などで成果向上を図りたい。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

児童クラブ施設修繕・工事管理事業

[1353]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0305	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	放課後の居場所づくり	担当	こども子育て部 こども未来課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>児童クラブ施設</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>適切な維持管理により、児童や職員などが安全で快適に利用できる状態になっている。</p>	<p><対象施設></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に9施設(各校区に1施設)設置されている。うち、指定管理導入施設は3施設(瑞鳳、渋川、三郷) <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 個別施設計画に基づく工事の実施 施設・設備修繕の実施

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 修繕件数	件	13	6	6	6	
	B 工事件数	件	0	0	0	0	
	成果指標	C 施設からの修繕要望の実施率	%	-	75	100	100
		D 工事進捗率	%	-	100	0	0
事業費 計				831	380	380	
財源内訳		ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般			831	380	380

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)</p> <p>成果指標C:実施率は100%。 成果指標D:評価不可。</p> <p>(原因)</p> <p>成果指標C:要望通りに実施できたため。 成果指標D:工事実施予定がなかったため。</p>
--------	--	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	個別施設計画に基づき、計画的な修繕等を行います。		
実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	個別施設計画に基づいた、計画的な修繕はなかったが、引き続き整備・改修を実施した。		

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0408	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	地域の子育て支援	担当	こども子育て部 子育て相談課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	依頼会員：子育ての援助を必要とする保護者(市内に在住・在勤・在学する生後3か月から小学校6年生までの児童を養育する者。) 援助会員：市内に在住する20歳以上の者	育児の援助を行いたい人と援助をしてもらいたい人がファミリーサポートセンター(保健福祉センター4階)に登録し、援助の必要な保護者が子育てのサポートをしてもらう会員組織。センターを適切に運営することで、子育て負担の軽減につなげる。 登録説明会(年6回)を受講後、会員登録 依頼会員 援助会員 両方会員 利用方法 依頼会員がファミリーサポートセンターへ依頼 アドバイザーが援助会員を選定 依頼会員と援助会員が事前打ち合わせを実施 援助活動の実施 1時間あたり700円を会員同士で支払い・受領 援助会員が結果をファミリーサポートセンターに報告 体制：アドバイザー(調整役)2名/月～金曜日の9:00～16:00 PR方法：広報誌、HPへの掲載、3か月健診、保育園入園説明会、児童クラブ入所説明会、就学児健診にチラシを配布、及び各施設に周知用チラシ設置
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 援助利用件数	件	791	992	1,000	978
	B サービス利用率(利用会員数/依頼・両方会員数)	%	4.5	6.4	10	7.6
成果指標	C 子育てサポートしてもらいたい人が、サポートしてもらえた割合	%	100	100	100	100
	D					
事業費 計			664	734	913	797
財源内訳		ア 国	221	244	304	265
		イ 県	221	244	304	265
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	222	246	305	267

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 援助利用件数はR3実績と比べ減っているが、サービス利用率については1.2%上がっている。 (原因) ファミリーサポートアドバイザーの仲介により、適切なサポートの提供につながっている。また新規援助者を増やすことで援助の稼働率が向上した。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	関係機関等と連携し、多胎児や障がい児等への援助内容を見直します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

多胎児や障がい児については、登録説明や事前面談、その他預かり場所について配慮し、職員もサポートすることで依頼者や援助者の負担を減らし、利用者が安心して預けられるように実施した。

市地域活動連絡協議会事業

[210]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0409	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	地域の子育て支援	担当	こども子育て部 こども課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張旭市地域活動連絡協議会 みらい子育てネット	子ども達の交通安全事業やなわとび大会、研修事業、各みらい子育てネットで実施している事業等をみらい子育てネットの取りまとめを行っている地域活動連絡協議会へ委託する。 ・地域子育て支援事業委託料 (こどもの安全教室、県地協み子ネットフェスティバル参加等) ・児童健全育成事業委託料 (なわとび大会開催) ・子育て支援者育成研修事業委託料 (理事視察研修事業、親子ふれあい研修事業)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	みらい子育てネットの活動が活発化している。 児童館等での各種イベント・教室運営に協力が得られている。 イベント運営を維持できている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 委託金額(市地域活動連絡協議会)	千円	834	1,054	1,534	1,534	
	B 委託金額中活動支援金相当額(みらい子育てネット)	千円	834	834	834	834	
	成果指標	C みらい子育てネット会員総数	人	156	144	180	141
		D 児童館へのイベント協力延べ人数	人	0	134	300	355
事業費 計			834	1,054	1,534	1,534	
財源内訳	ア 国	千円					
	イ 県						
	ウ 地方債						
	エ その他						
	オ 一般		834	1,054	1,534	1,534	

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調	(状況) 成果指標Cは、R3から3人減少している。成果指標Dについては、R3から21人増加している。 (原因) みらい子育てネット会員数は、会員の高齢化も影響し、減少傾向が続いている。 児童館イベント協力人数は、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらほぼ全ての行事を開催できたことで、数値が大幅に向上した。年1回開催であった児童館こどもまつりを年4回のじどうかんフェスに変更したことが延べ人数の増加に影響している。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

児童手当支給事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0502	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	子育ての経済的負担の軽減	担当	こども子育て部 こども課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>0歳～中学校3年生までの児童を養育している保護者に手当を支給する。</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>児童手当を支給することにより、中学生以下の保護者の経済的負担が軽減されている。</p>	<p>支給額</p> <p>(1) 児童手当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満 一律 15,000円 ・3歳～小学校修了前(第1子、2子) 一律 10,000円 ・3歳～小学校修了前(第3子以降) 一律 15,000円 ・中学生 一律 10,000円 <p>(2) 特例給付</p> <p>月額 0歳～中学生 5,000円</p> <p>令和4年6月より、所得制限限度額以上所得上限限度額未満の場合は特例給付、所得上限限度額以上の場合は支給なし</p> <p>支給対象者は、次の場合手続きが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 出生・転入などにより新たに受給資格が生じた場合 (2) 出生などにより支給対象となる児童が増えた場合 (3) 転出や支給対象児童がいなくなった場合 <p>毎年2月、6月、10月に、それぞれの前月分までを支給。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 児童手当支給額	千円	1,328,955	1,310,115	1,314,780	1,267,695
	B					
成果指標	C					
	D					
事業費 計			1,331,131	1,315,738	1,307,250	1,269,648
財源内訳		ア 国	923,134	908,933	908,780	883,039
		イ 県	201,530	198,178	198,109	191,861
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	206,467	208,627	200,361	194,748

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>
--------	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	児童手当法の改正に適切に対応します。		
実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	児童手当法の改正に適切に対応した。		

児童扶養手当等支給事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0503	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	子育ての経済的負担の軽減	担当	こども子育て部 こども課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

事業目的と概要
児童扶養手当
 母子・父子家庭等で18歳以下の児童を養育している方。(所得制限等有)
遺児就学手当
 1年以上市内在住の母子・父子家庭等で義務教育就学中の児童を養育しており、前年分所得税が非課税の方。

意図
 母子・父子家庭の保護者の経済的負担が軽減されている。

手段
 下記の手当に係る申請受付 審査 認定 支給等の手続きを行う。
児童扶養手当
 【対象】市内に住所があり、支給要件のいずれかに該当する18歳以下の児童を養育している方。(所得制限等有)
 【支給要件】
 1.父母が婚姻を解消し、父または母と生計を同じくしていない児童
 2.父または母が死亡した児童
 3.父または母が生死不明の児童
 4.父または母に1年以上遺棄されている児童
 5.父または母が1年以上拘禁されている児童
 6.婚姻によらないで生まれた児童
 7.父または母に重度の障がいがある児童
 【手当月額】
 (児童一人目)
 全部支給 月額43,070円/人
 一部支給 月額43,080円/人(10円単位で所得に応じた金額)
 (児童二人目以上)
 全部支給 月額10,170円/人
 一部支給 月額10,160~5,090円/人(10円単位で所得に応じた金額)
 (児童三人目以降)
 全部支給 月額6,100円/人
 一部支給 月額6,090~3,050円/人(10円単位で所得に応じた金額)
 【支給月】奇数月
遺児就学手当
 【対象】市内に1年以上住所があり、上記児童扶養手当の支給要件1から6のいずれかの状態にある義務教育就学中の児童を養育している方。(前年分所得が非課税)
 【手当月額】小学生 月額2,500円/人、中学生 月額3,750円/人
 【支給月】7月、11月、3月

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 児童扶養手当支給世帯数	世帯	412	404	450	387
	B 遺児就学手当支給世帯数	世帯	304	283	330	271
成果指標	C 遺児就学手当により就学している児童生徒数	人	1,713	1,467	1,800	1,412
	D					
事業費 計			224,134	210,452	225,765	200,139
財源内訳		ア 国	72,277	67,919	73,166	64,824
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	151,857	142,533	152,599	135,315

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況)活動指標A、B、成果指標Cいずれも減少している。 (原因)活動指標Aの減少はひとり親世帯の所得増加により支給停止者が増加したことが要因の一つと考えられる。全体として、児童数の減少が対象世帯数、対象児童数の要因と考えられる。
--------	--	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

ひとり親家庭等支援事業

[94]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0504	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	子育ての経済的負担の軽減	担当	こども子育て部 こども課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	母子・父子家庭の母・父等	下記の支援事業に係る申請受付 審査 認定 給付金支給等の手続きを行う。 母子家庭自立支援給付金及び父子家庭自立支援給付金 母子・父子家庭の母又は父が就職に役立つ技能や資格を取得するための各種講座を受講したり、各種学校等の養成機関で修業する場合に支給 経済的自立のため愛知県指定の職業能力開発講座を受講後、自立支援教育訓練給付金を支給。 就職に有利な資格取得と経済的自立のため2年以上養成機関で受講した場合、高等技能訓練促進費を支給。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	ひとり親家庭等日常支援事業 母子・父子家庭及び寡婦の方で以下の事由が生じた場合に、家庭生活支援員を派遣 1. 自立促進に必要な事由(技能習得のための通学、就職活動等) 2. 社会的事由(疾病、出産、看護、自己、災害等) 3. ひとり親家庭となつて間がなく、生活が安定していない状態 【援助の内容】 児童の保育、食事の世話、住居の掃除、身の回りの世話等
	経済的負担が軽減されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績		
活動指標	A 母子家庭自立支援給付金利用者数	人	9	8	11	8		
	B 母子家庭等日常支援事業利用者数	人	0	0	1	3		
成果指標	C 相談件数に対する母子家庭等自立支援事業利用者割合	%	41	22	60	66.7		
	D 相談件数に対する日常生活支援事業利用者割合	%	0	0	40	60		
事業費 計			6,370	7,206	8,745	5,645		
財源内訳		ア 国	千円	4,015	4,873	5,884	3,810	
		イ 県				135	113	
		ウ 地方債						
		エ その他					7	20
		オ 一般		2,355	2,333	2,719	1,702	

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) R3と比較し、成果指標Cは44.7ポイント増加、成果指標Dは60ポイント増加となっている。 (原因) 例年、利用者数による成果指標の増減はあるものの、今回は大幅な増加となっている。自立支援事業、日常生活支援事業ともに、相談から実際の利用まで適正な支援につなげられたことが要因と考えられる。
--------	--	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

特別児童扶養手当

[97]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0506	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	子育ての経済的負担の軽減	担当	こども子育て部 こども課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	20歳未満の身体・知的発達又は精神に障がいのある児童を監護する父母、又は父母に代わって養育している人に手当を支給し、児童の福祉を図る。	特別児童扶養手当の受付を行い、愛知県へ申請書類を進達する。 【支給要件】 1.知的発達か精神に障がいのある児童 (療育手帳所持の場合はAかB判定程度) 2.身体に障がいのある児童 (身体障害手帳所持の場合は1~4級、ただし4級は一部該当) 請求者及び扶養義務者の前年所得が所得制限限度額以上であったり、児童が児童福祉施設に入所したとき、若しくは、児童が障がいを理由とする年金を受給できる場合は、手当の支給はできない。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	【手当額】 1級該当児童 52,400円 2級該当児童 34,900円 支払月は、4月、8月、11月の年3回で愛知県が直接対象者の口座へ振り込む。
	障がい者の安定的な生活支援ができています。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 特別児童扶養手当支給件数	件	123	149	150	168
	B					
成果指標	C					
	D					
事業費 計			32	40	45	45
財源内訳		ア 国	32	40	45	45
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
【成果向上余地】	未設定	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	福祉課と連携し、窓口の一本化について検討します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
福祉課と情報共有等を実施し、現時点での一本化は見送ることとした。			

母子生活支援・助産施設入所措置事業

[1363]

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0510	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	子育ての経済的負担の軽減	担当	こども子育て部 子育て相談課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>・配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童</p> <p>・保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由により、入院助産を受けることができない妊産婦</p>	<p>母子生活支援施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所希望者と面談、入所申込みを行う。 母子生活支援施設と調整し、入所の手続きを行う。 施設入所後、定期訪問面談を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	<p>・安心して暮らせる環境を整え、退所後も自立した生活ができています。</p> <p>・妊産婦が安心・安全に出産を迎えることができています。</p>	<p>助産施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所希望者と面談、入所申込みを行う。 助産施設と調整し、入所の手続きを行う。 施設入所後、出産前後に面談を行う。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 母子生活支援施設入所世帯数	世帯		1	1	0	
	B 助産施設入所者数	人		0	1	0	
成果指標	C						
	D						
事業費 計				2,491	4,110		
財源内訳		ア 国		1,245	2,050		
		イ 県		622	1,025		
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		624	1,035		

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	
--------	--	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

こどもの発達センター運営事業

[1215]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0603	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	06	発達が気になる子どもへの支援	担当	こども子育て部 子育て相談課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>発達に関して不安や悩みの相談やさまざまな支援を受ける可能性がある児童とその保護者</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>対象者が相談することで不安や悩みを解消し、適切な支援を受けている。</p>	<p>保護者が子どもの発達や障がいに関して不安を感じた時に相談できる窓口として、各種の相談業務や教室などの事業を通し、不安の軽減や就園・就学に向けた支援などを行う。</p> <p>こどもの発達相談、専門相談、保育園・幼稚園・小中学校等での巡回相談など親子支援教室の開催</p> <p>個別支援手帳「にこにこブック」(対象児が様々な支援機関と関わる際に、特性や好み、関わり方などを分かりやすく伝え、スムーズに支援を受けるための冊子)の作成・配布</p> <p>保護者・支援者等を対象にした研修の実施</p> <p>療育支援事業(愛知県と連携)</p> <p>関係機関による発達支援連携会議(年数回)発達支援担当者会(毎月)</p> <p>ライフステージを通じた切れ目のない支援を行うため、こどもの発達センターを中心として、関係部署が相互に連携し、対象者を包み込むように支援できるようなネットワークの構築を行っていく。また、関係部署間による情報の集約と共有の手段・方法について、検討を行う。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A こどもの発達相談件数	件	1,401	1,522	1,500	1,516	
	B 個別支援手帳「にこにこブック」配布数	冊	18	18	20	18	
成果指標	C こどもの発達センター年間のべ利用者数	人	1,655	1,748	1,800	1,741	
	D						
事業費 計			4,235	4,320	4,515	4,045	
財源内訳		ア 国			65	37	
		イ 県			32	19	
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		4,235	4,320	4,418	3,989

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況)</p> <p>成果指標C「こどもの発達センター年間のべ利用者数」については、令和3年度実績と令和4年度実績を比較すると7人減少であり、ほぼ横ばいである。</p> <p>(原因)</p> <p>こどもの発達相談をはじめ、各種専門相談や関係機関との連携等により、人口に対するこどもの割合が低下する中でほぼ実績値を維持できている。</p>
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

D V 被害者相談事業

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0701	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	07	子どもの人権擁護	担当	こども子育て部 子育て相談課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	D V 相談者	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第1・第3火曜日に、専任の相談員が保健福祉センター相談室で相談を受ける「女性の悩みごと相談」を開設 子ども・子育て相談においてD V相談業務を行う 必要に応じ、女性相談センターへの一時保護依頼、母子生活支援施設への入所依頼等を行う
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
相談者が身の安全の確保ができた状態	<p><保護制度> 一時保護 (女性相談センター等に概ね2週間以内の期間滞在できる) のことをいう。</p>	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A D V 相談件数	件	47	56	30	37
	B 一時保護の件数	件	1	1	2	2
成果指標	C 一時保護により一時的に身の安全が確保された相談者数	人	1	1	2	2
	D					
事業費 計			238	238	238	238
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	238	238	238

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) R3実績と比べ、1件増加している。 (原因) DV被害者の相談を受け、安全を確保するための必要があり、被害者が希望したため、一時保護を行ったことが要因である。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	広報やSNSを利用して、相談窓口を周知します。 研修等を受講し、職員等の資質向上に努めます。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
相談窓口の周知が、相談者の利用につながっている。			

要保護児童対策推進事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0702	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	07	子どもの人権擁護	担当	こども子育て部 子育て相談課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・18歳未満の虐待を受けていると疑われる子ども ・虐待をする養育者	虐待を受けている又はその疑いのある児童等に関わる機関と連携を図り、本市としての総合的な支援を行うため、中心機関として要保護児童対策地域連携会議を開催し、要保護児童の早期発見、早期対応を行う。 尾張旭市要保護児童対策地域連携会議運営要綱に基づき、「要保護児童対策地域連携会議」を運営 ・代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議により、各機関の連携の強化、虐待事案への対応を行う。 尾張旭市子ども家庭総合支援拠点設置要綱に基づき、現状の支援体制をより充実するとともに、子どもと家庭及び妊産婦等の課題に対し、子ども支援の専門性・人的資源を確保し、相談・ソーシャルワーク対応ができる組織・機能を構築する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	虐待通告受理後の対応 ・関係機関等による緊急受理会議開催 ・情報の集約及び状況確認(家族構成・健診状況・保育園や学校での様子等) ・子どもの安全確認、必要に応じた児童相談所への通告(職員の訪問、保育園や学校での確認。児相への措置の要請・援助の依頼) ・ケース管理(関係機関等の役割確認と継続見守り) 児童虐待防止推進月間におけるキャンペーンの実施や、児童虐待の通告・相談窓口である、子育て相談課、こども・子育て相談等の周知
	子どもが養育者の虐待から開放され、身の安全を確保されている。 親子関係の修正がなされ、虐待行為をされることなく、健全な親子関係が成立している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 通告受理人数	人	48	27	30	26	
	B 児童相談所への通告人数	人	7	2	5	8	
	成果指標	C 安全の確保のできたこどもの数	人	48	27	25	20
		D					
	事業費 計			1,146	2,137	2,825	2,392
事業費	財源内訳	ア 国	381	712	557	416	
		イ 県	381	712	557	416	
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	384	713	1,711	1,560	

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) R3実績と比べ、7人減少した。 (原因) 虐待を受けている又はその疑いのある児童を迅速に発見し、対応を行ったが、今年度も継続して支援する必要があるケースがあったことも要因である。
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

子ども・子育て支援事業計画推進事業

[100]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0901	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども未来課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	概ね18歳までの子ども及びその保護者等	子ども・子育て支援法に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画の進捗管理を行う。 5年周期で計画を策定する。 計画策定前年度にニーズ把握のためのアンケート調査を実施する。 策定後は、計画に掲載する事業の進捗状況を管理する。 (毎年度、状況を市HPで公表) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制について、計画に基づき、円滑な実施を図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	少子化が進む中、子ども及び子どもを養育している者に必要な支援を行い、もって子どもたちが健やかに育つ環境が整えられている。 次世代育成支援対策推進法に基づく、市町村行動計画を包含する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 計画策定・推進のための会議回数	回	2	2	3	1
	B 計画策定・推進状況の公表回数	回	1	1	1	1
成果指標	C 計画策定・進捗率	%	100	100	100	100
	D 計画目標の達成率	%	45.8	69.6	80	71.9
事業費 計				64	141	
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般			64	141

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 活動指標A及び成果指標Cともに維持横ばいの状況である。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響から書面会議一回の開催となった。 ・第1期計画の理念を継承して、策定した第2期計画において、引き続き進捗管理を進める。
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

児童館施設管理事業

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0902	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童館	< 児童館 > ・各校区に1箇所、市内9箇所(内指定管理3箇所)あり。 ・遊戯室、工作室、図書室、集会室、事務室など < 事業内容 > ・光熱水費、運営管理事務 令和3年度より施設の設備保守、修繕等をこども未来課へ移管 これに伴い活動指標Bの指標は令和2年度まで。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	< 指定管理者制度の導入 > 平成22~27年度 三郷・中部児童館(指定管理者:株日本保育サービス) 平成28~令和2年度 三郷児童館、瑞鳳・渋川児童館(指定管理者:株日本保育サービス) 令和3年度~令和7年度 三郷児童館、瑞鳳・渋川児童館(指定管理者:株日本保育サービス)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 指定管理施設のモニタリング結果「B」の割合	件	0	0	0	0	
	B 修繕・維持補修の実施数(R02まで)	件	18	-		-	
成果指標	C 施設維持管理上の重大な不具合件数	件	0	0	0	0	
	D						
事業費 計			54,973	50,238	50,815	53,724	
財源内訳		ア 国		450	600	54	
		イ 県		450	450		
		ウ 地方債					
		エ その他		1,195	1,450	1,362	1,511
		オ 一般		53,778	47,888	48,403	52,159

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標は変化なし。 (原因) 施設に重大な不具合が生じることなく、施設の維持管理が行われている。 今後もこの状況の継続に努める。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

児童館運営事業

[104]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0903	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	1 8歳未満の児童及びその保護者	<p>児童館行事の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の健全育成の場として児童館を運営する。 保護者を対象に、子育てに関する相談を実施。 年間を通じて児童とその保護者を対象としたイベントの企画、運営を行う。 じどうかんフェス(こどもまつり:年4回)、対抗大会(オセロ、けん玉、卓球)開催 <p>児童館運営委員会にて様々な角度からの意見を聴取。運営に反映。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>平成22年度から三郷・中部児童館に指定管理者制度を導入。(平成28年度からは中部児童館を直営に戻し、三郷児童館、瑞鳳・渋川児童館に指定管理者制度を導入)</p> <p>令和元年度から放課後の居場所づくりの一環として、ランドセル来館事業を試行。令和3年度より本格実施(放課後児童健全育成事業と連携)</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 開催回数(こどもまつり・児童館対抗オセロ大会・児童館対抗けん玉大会・児童館対抗卓球大会)	回	0	2	7	7
	B 児童館運営委員会開催回数	回	1	1	1	1
成果指標	C 児童館年間のべ利用者数	人	59,859	62,447	138,500	70,273
	D					
事業費 計			2,981	4,333	4,858	4,487
財源内訳		ア 国	70		76	
		イ 県	70		76	
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	2,841	4,333	4,706	4,487

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 成果指標CはR3比較で7,826人の増加となっているが、新型コロナウイルスの影響前と比べると利用者が少ない状況が続いている。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症対策下での運営も3年目となり、じどうかんフェスなどのイベントも計画通りに開催しているものの、参加人数の制限を設けていることなどもあり、利用者数の伸びが少ない。新型コロナウイルスの制限がなくなることで、利用者数の増加が期待される。</p>
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

社会福祉法人指導監査事業（子育て支援）

[1319]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0904	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども未来課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	こども子育て部が所管する社会福祉法人	地方分権改革により、同一市内のみで事業を運営する社会福祉法人に認可や指導監査については、当該自治体の権限となったことに伴い、所管する社会福祉法人の運営が健全に行われるよう、指導監査を実施する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	根拠法令 社会福祉法等 所管社会福祉法人 社会福祉法人蒲生会 社会福祉法人いしずえ会 指導監査の種類 一般指導監査(実施頻度は要綱で定める。) 特別指導監査(随時)
	社会福祉法人の運営が健全に行われている。	個別の社会福祉法人の担当部署は、当該法人の設立時に実施する事業による。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 指導監査実施回数	回	1	1	0	0
	B 特別指導監査実施回数	回	0	0	0	0
成果指標	C					
	D					
事業費 計				40		
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般			40	

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
【成果向上余地】		
		未設定

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

施設等利用給付実施事業

[1350]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0905	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 保育課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	特定子ども・子育て支援施設(新制度未移行幼稚園、認可外保育施設等)の設置者等及び利用者	子育ての施設等利用給付認定 保護者の就労等、家庭の状況に応じて、新1号・新2号・新3号の認定を行う。 施設等利用給付 新1号認定:教育標準時間に準じた施設の利用料金を給付する。 (月額上限25,700円) 新2・3号認定:預かり保育等の利用料金を給付する。 (月額上限11,300円。新3号は16,300円) 認可外保育施設等を利用する場合は月額上限37,000円(新3号は42,000円) <給付方法> 法定代理受領:保護者に代わって施設が給付費を受け取る。 (新制度未移行幼稚園の教育標準時間に準じた料金) 償還払い:利用実績に応じて、保護者に給付する。 (預かり保育、認可外保育施設等)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	特定子ども・子育て支援施設の利用料等の無償化により、施設を利用しやすい環境が整備されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 施設等利用給付額		332,724	348,708	363,820	343,241
	B 施設等利用給付認定件数		1,143	1,150	1,100	1,121
成果指標	C					
	D					
事業費 計			332,724	352,240	359,700	347,378
財源内訳		ア 国	171,893	176,440	179,400	172,361
		イ 県	85,386	88,677	90,150	86,893
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	75,445	87,123	90,150	88,124

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

児童館施設修繕・工事管理事業

[1354]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0907	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども未来課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>児童館施設</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>適切な維持管理により、利用者や職員などが安全で快適に利用できる状態になっている。</p>	<p><対象施設></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に9館(各小学校区に1館)設置されている。うち、指定管理導入施設は3館(瑞鳳、三郷、渋川) 遊戯室、工作室、図書室、集会室、事務室など <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 個別施設計画に基づく工事の実施 施設・設備の修繕の実施

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 修繕件数	件	33	34	36	28	
	B 工事件数	件	5	0	1	1	
	成果指標	C 施設からの修繕要望の実施率	%	-	50.7	100	100
		D 工事進捗率	%	100	0	100	100
事業費 計				3,266	22,030	25,205	
財源内訳		ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般			3,266	22,030	25,205

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況)</p> <p>成果指標C:実施率は100%。 成果指標D:工事進捗率は100%。</p> <p>(原因)</p> <p>成果指標C:要望通りに実施できたため。 成果指標D:計画通りに、工事を進めることができたため。</p>
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	更新時期を迎えている児童館の空調設備の計画的な整備を進めます。個別施設計画に基づき、計画的な修繕等を行います。		
実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	更新時期を迎えている児童館(藤池、平子、本地ヶ原、瑞鳳、三郷、中部、旭丘、渋川)の空調設備の実施設設計委託を実施した。個別施設計画に基づいた、計画的な修繕はなかったが、引き続き整備・改修を実施した。		

子育て支援施設整備・改修計画推進事業

[1355]

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0908	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども未来課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	子育て支援施設、施設利用者、市民、職員	<p><子育て支援施設> 保育園(12園)、児童館(9館)、児童クラブ(9クラブ)、ピンポン教室(1施設)</p> <p><計画策定対象施設> 保育園(12園)、児童館(9館)、児童クラブ(2クラブ) 児童クラブ7クラブ(学校施設の一部)は、教育政策課で計画策定予定。</p> <p><事業内容> ・子育て支援施設全体を視野に入れながら、保育所整備・改修計画及び幼児・児童施設個別施設計画を策定(改定)し、推進するための事務を行う。 ・子育て支援施設が抱える課題を見出し、解決に向けた検討・事務を進める。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

尾張旭市が「子育てしやすいまち」として、安心して子育てできる市となるよう、子育て支援施設を計画的に整備・改修するための事務が進められている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 計画対象施設数	施設	23	23	23	23	
	B 課題数	件	7	7	7	7	
	成果指標	C 計画策定数	件	2	2	2	2
		D 対策立案・実施数	件	0	0	1	0
事業費 計							
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般					

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標C: 予定数と同数の2となった。 成果指標D: 評価不可。 (原因) 成果指標C: 進捗なし。 成果指標D: 来年度実施予定。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

子育て支援施設指定管理事務

[1362]

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0909	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども未来課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	施設(保育園、児童館、児童クラブ) 利用者(保育園、児童館、児童クラブ)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	施設の管理・運営を適切に行うことができる指定管理者が指定されている。	<次期指定管理方針検討> ・運営方法等調査 ・民間業者ヒアリング ・指定管理料算定 ・選定方針、募集要項等検討 <指定管理者指定> ・選定会議設置 ・募集周知 ・現地説明会 ・選定会議 ・県警に照会 ・候補者選定、仮協定締結 ・議案上程 ・基本協定締結

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 指定管理者指定数	件		0	2	2	
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計		千円					
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般					

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) (原因)
--------	--	--------------

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	茅ヶ池保育園及び東部保育園の次期指定管理者の選定を行います。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	茅ヶ池保育園及び東部保育園の次期指定管理者の選定を行った。		

こども子育て施設維持管理事業

[1395]

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	13-0910	実施計画
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども未来課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>こども子育て施設 公設保育園施設 ピンポン教室施設 児童館施設 児童クラブ施設</p>	<p><対象施設> 公設保育園は、市内に12園設置されている。 うち、指定管理導入園は4園(東部、茅ヶ池、稲葉、はんのき) 市内に1ヶ所設置されている。稲葉保育園に併設 市内に9館(各小学校区に1館)設置されている。 うち、指定管理導入施設は3館(瑞鳳、三郷、渋川) 市内に9施設(各校区に1施設)設置されている。 うち、指定管理導入施設は3施設(瑞鳳、三郷、渋川)</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
適切な維持管理により、園児や保護者(は利用者、は児童)、職員などが安全で快適に利用できる状態になっている。	<p><事業内容> ・施設や設備を維持するために、必要と思われる保守点検、清掃等を実施して、快適な環境を維持する。</p>	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 保守点検等委託件数				18	18	
	B						
	成果指標	C 施設の不具合による運営支障件数				0	0
		D					
事業費 計					11,251	11,076	
財源内訳		ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他				500	
		オ 一般			11,251	10,576	

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 老朽化が進行している施設において、不具合の発生は避けられないが、適切な管理の実施により、運営支障件数を0件とすることができた。</p>
--------	---	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	新規
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

保育士等処遇改善事業 < 予算のみ >

[1399]

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	13-0911	実施 計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 保育課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

		指標名称	単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
指標・事業費	活動指標	A						
		B						
	成果指標	C						
		D						
		事業費 計	千円					
		財源内訳		ア 国				
				イ 県				
				ウ 地方債				
				エ その他				
			オ 一般					

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) (原因)
--------	--	------------------

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	未設定
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

こども課庶務事務

[937]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	99-0405	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務、課員	<ul style="list-style-type: none"> ・文書の收受 ・庁内文書の処理 ・時間外勤務・出張命令の整理 ・出勤簿・年次休暇等の整理(課分及び児童館等) ・消耗品の調達・管理 ・財務会計事務 ・予算・決算に関する事務 ・郵便物の発送
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
こども課の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。庶務事務の適切なフォローにより、課員の進める様々な事務事業が円滑に進んでいる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A					
	B					
	C					
	D					
事業費 計			538	220	428	309
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	538	220	428

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

こども未来課庶務事務

[1299]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	99-0410	実施 計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども未来課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務、課員	文書の收受 庁内外文書の処理 郵便物の発送 行政評価の管理 課内の消耗品の調達、管理 出張命令書の整理 財務会計事務 予算・決算に関する事務
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。	所要時間：1日平均1,5時間×21日×12か月=378時間	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A				0		
	B				0		
	C				0		
	D				0		
事業費 計		千円		125	250	231	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般		125	250	231	

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

保育課庶務事務

[1300]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	99-0411	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 保育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務、課員	庁内外文書の收受・発送・管理等 報告文書等の取りまとめ 財務会計事務 予算・決算に関する事務 時間外勤務・出張命令の整理 会計年度任用職員に関する事務 保育園の庶務事務補助 消耗品の調達・管理 会議・研修会等への参加 その他突発的な事項等への対応 R3単独公用車をこども未来課に移管。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
庶務事務が正確かつ円滑に処理されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標	事業費 計			1,470	110	196	184
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県		261	24		
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		1,209	86	196	184

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
【成果向上余地】		
未設定		

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

子育て相談課庶務事務

[1383]

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	99-0413	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 子育て相談課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務 課の職員 乳幼児を育児している保護者	課の庶務に関すること ・文書の收受及び管理 ・庁内外の照会文書に関する調査、報告のとりまとめ ・時間外勤務、出張命令書の整理 ・備品・消耗品の調達及び管理 ・予算、決算に関する事務 ・郵便の発送 ・単独公用車の管理 ・補助金に関すること ・子ども・子育て支援交付金に関する事務
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・庶務事務が正確かつ円滑に進んでいる。
 ・事務の見直し・改善により、所要時間の短縮が図られている。
 ・突発的な事項等に対して迅速・的確に対応できている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A						
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計		千円		157	301	250	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般		157	301	250	

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定	(状況) (原因)
	【成果指標の状況】 未設定	
	【成果向上余地】 未設定	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	99-5000	実施計画	
施策	03	子育て支援の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	こども子育て部 こども未来課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	部内の重要案件等の事務について調整を行い、より適正な処理を行う。 ・部長指示、懸念事項の整理に関すること ・複数課にまたがる国県補助金(子ども子育て支援交付金等)事務及び報告に関する事務 ・保育所施設等の維持管理に関すること ・部の庶務に関すること ・部の予算・決算に関すること

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
指標・事業費	活動指標 A					
	活動指標 B					
	成果指標 C					
	成果指標 D					
事業費 計		千円				
財源内訳	ア 国					
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般					

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) (原因)
--------	---	--------------

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-